

防災意識を
高めよう

「佐渡市総合防災訓練」を実施しました

11月6日(日)、両津港おんでこドーム周辺を会場に、内閣府と共催で佐渡市総合防災訓練を実施し、36の関係機関と71の自主防災組織、一般参加者など、あわせて約2,700人が参加しました。

この訓練は、大規模災害が発生した事を想定し、円滑な防災活動を期するために、関係機関が各種訓練を実施することで、相互の緊密な連携を構築するとともに、地域住民の防災に対する理解と意識の高揚を図る



応急救護所設置訓練



市街地建物火災消火訓練



倒壊家屋救出訓練

ため、平成20年から毎年行われてい
ます。

訓練は、佐渡北方沖を震源とする
最大震度6強の地震が発生したとの
想定で行われ、始めに緊急情報伝達
システムを活用し市内一斉のサイレ
ン吹鳴を行うとともに、市民誰もが
参加できる訓練として、その場で約
1分間、「まず低く」「頭を守り」「動
かない」の安全行動をとる「シエイ
クアウト訓練」を行いました。

続けて、情報伝達訓練や被害調査

訓練、応急救護所設置訓練、市街地
建物火災消火訓練が行われたほか、
自衛隊員による倒壊家屋救出訓練、
海上保安官による海上救助訓練など
も行われました。

また、体験コーナーでは、はしご
車試乗体験や地震体験、濃煙体験な
どのさまざまな体験ができ、体験を
通して防災について学びました。

お問い合わせ
市役所総務課防災危機管理室
☎63-3111(代)

災害発生時に備えて、
「佐渡市地域防災マップ」を
ご活用ください

災害発生時には、救出・救助を始
め、行政がすべてに対応することは
極めて困難です。まずは、「自分で身
を守る」、さらに、過疎・高齢化が進
行している佐渡市においては、「地域
の人たちと助け合う」ことが、被害
を最小限に抑えるのに重要です。

そのため、平成27年3月に「佐
渡市地域防災マップ(ハザードマッ
プ)」を作成し、全世帯に配布しまし
た。

「佐渡市地域防災マップ」とは、自
然災害の発生により被害が見込ま
れる危険区域を地図にしたもので
す。

市の地域防災マップは、津波・土
砂災害・洪水に対して作成しており、
予想される津波・洪水の浸水範囲や
浸水深、土砂災害の恐れがある区域
を示した上、避難に役立つ情報を掲
載しています。

日ごろから、地域防災マップを参
考に、ご家庭や地域で、いざという
時に備えて避難所までの経路や持
出品について話し合い、災害時の被
害軽減に役立ててください。

お問い合わせ

市役所総務課防災危機管理室
☎63-3111(代)